

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2022-22638
(P2022-22638A)
 令和4年2月7日(2022. 2. 7)

(43)公開日

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 47/30 (2006. 01)	A 6 1 K 47/30	4 B 0 1 8
A 6 1 K 9/19 (2006. 01)	A 6 1 K 9/19	4 B 0 2 6
A 6 1 K 47/10 (2006. 01)	A 6 1 K 47/10	4 C 0 7 6
A 6 1 K 47/32 (2006. 01)	A 6 1 K 47/32	4 C 0 8 3
A 6 1 K 47/46 (2006. 01)	A 6 1 K 47/46	4 J 0 0 2
審査請求 未請求 請求項の数 10 OL (全 16 頁) 最終頁に続く		

(21)出願番号 特願2020-112952(P2020-112952)
 (22)出願日 令和2年6月30日(2020. 6. 30)

(71)出願人 304020177
 国立大学法人山口大学
 山口県山口市吉田1 6 7 7 - 1
 (74)代理人 100107984
 弁理士 廣田 雅紀
 (74)代理人 100182305
 弁理士 廣田 鉄平
 (74)代理人 100102255
 弁理士 小澤 誠次
 (74)代理人 100096482
 弁理士 東海 裕作
 (74)代理人 100131093
 弁理士 堀内 真
 (74)代理人 100150902
 弁理士 山内 正子
 最終頁に続く

(54)【発明の名称】自発乳化性組成物及びその製造方法

(57)【要約】

【課題】

本発明は、界面活性剤の使用量が少なくても乳化効率がよく、乳化後に不溶物が残らない用事調整可能な自発乳化性組成物を提供することを課題とする。

【解決手段】

親水性高分子からなる多孔質粒子、及び該多孔質粒子の細孔内に吸収されている親油性物質を含有する組成物が、用事調製用の自発乳化性組成物となる。また、その製造方法としては、親水性高分子水溶液の液滴を凍結乾燥し多孔質粒子を調製する工程（Ⅰ）及び得られた多孔質粒子に親油性物質を含ませる工程（Ⅱ）を含む。

【選択図】なし